

◆ 不適合とは、法律等で報告が義務づけられているトラブルや、設備の点検で見つかる機器の故障など、発電所の設備や業務の安全性及び信頼性の確保に必要な要求事項を満たしていない状態をいいます。

2026年 3月16日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 4 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日	備考
1	1号機	サービス建屋地下2階空調機械室防火ダンパー(No.2)点検時、動作不良(閉信号で自動閉せず)を確認したため、当該防火ダンパーを修理。 防火ダンパー復旧までの間、当該防火区画での危険物作業など火災リスクのある作業を禁止。	G III	3月11日	
2	1号機	サービス建屋1階(ダクトスペース内)防火ダンパー(No.14)点検時、動作不良(閉信号で自動閉せず)を確認したため、当該防火ダンパーを修理。 防火ダンパー復旧までの間、当該防火区画での危険物作業など火災リスクのある作業を禁止。	G III	3月12日	
3	2号機	換気空調系原子炉建屋外気差圧指示計がハンチング(上下動)したため点検を行ったところ、排気ファン(B)出口空気作動弁の動作緩慢を確認。原因調査・対策検討。 なお、排気ファン(A)へ切替実施し、外気との差圧が安定したため、系統機能に影響はない。	G III	3月12日	
4	その他	協力企業作業員(1名)が事務所出入口前の段差で左足首をひねり転倒したため、原因調査・対策検討。 なお、当該作業員は、転倒直後に痛みがなかったため業務を継続したが、その後、痛みが増してきたため退社後に医療機関を受診。その結果、「第5中足骨骨折(左)」全治3ヵ月程度と診断。	G I	3月11日	2026.3.27 再審議にて グレード変更 G III→G I